

運用報告書 (全体版)

第5期<決算日2025年7月14日>

グローバルESGハイクオリティ 成長株式ファンド (為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年7月20日から2050年7月14日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド	わが国および新興国を含む世界の金融商品取引所に上場する株式 (上場予定を含みます。)* (注) DR (預託証券) もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。
運用方法	マザーファンドのポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESG ^(*) への取り組みなどの評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。 (*) 「ESG」とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の略称です。 ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される銘柄を選定します。マザーファンドの運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに株式等の運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部 (株式等の投資判断の一部) を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに再委託します。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として7月14日。休業日の場合は翌営業日。) に繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

愛称：未来の世界 (ESG)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)」は、2025年7月14日に第5期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
<https://www.am-one.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	純 資 産 額
		税 込 分	騰 落 率	騰 落 率			
(設 定 日) 2020年7月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 383,033
1 期 (2021年7月14日)	12,755	0	27.6	97.8	—	—	1,146,069
2 期 (2022年7月14日)	9,331	0	△26.8	94.4	—	—	803,909
3 期 (2023年7月14日)	12,997	0	39.3	97.7	—	—	972,294
4 期 (2024年7月16日)	17,816	0	37.1	96.7	—	—	1,120,394
5 期 (2025年7月14日)	19,634	0	10.2	97.1	—	—	1,078,101

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
(注4) 当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。
(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

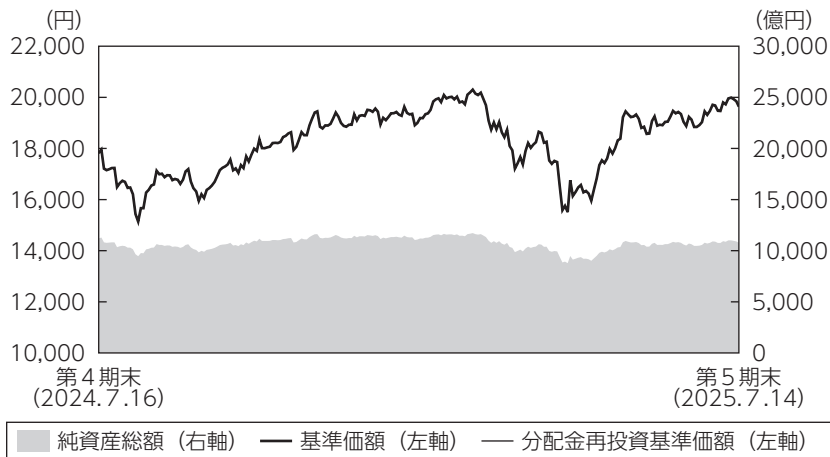
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2024 年 7 月 16 日	円 17,816	% —	% —	% 96.7	% —
7 月 末	16,455	△7.6	93.6	—	—
8 月 末	16,778	△5.8	94.3	—	—
9 月 末	17,145	△3.8	95.5	—	—
10 月 末	18,635	4.6	97.3	—	—
11 月 末	18,883	6.0	95.5	—	—
12 月 末	19,324	8.5	94.3	—	—
2025 年 1 月 末	20,003	12.3	96.2	—	—
2 月 末	18,748	5.2	97.1	—	—
3 月 末	17,526	△1.6	97.2	—	—
4 月 末	17,433	△2.1	96.8	—	—
5 月 末	18,890	6.0	97.8	—	—
6 月 末	19,709	10.6	97.6	—	—
(期 末) 2025 年 7 月 14 日	19,634	10.2	97.1	—	—

- (注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年7月17日から2025年7月14日まで）

基準価額等の推移



第5期首：17,816円
第5期末：19,634円
(既払分配金0円)
騰落率：10.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国を中心にグローバル景気が底堅く推移したことや、生成AI関連需要の拡大などを受けて、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移したことが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや情報技術セクターなどの保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与する一方、ヘルスケアセクターの保有銘柄の株価下落はマイナスに寄与しました。また、米ドルが対円で下落したこともマイナスに寄与しました。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。当期はじめは、軟調な雇用関係指標の発表を受けた米国の景気後退への懸念などから一時下落したものの、その後は過度な景気への警戒感の後退や、欧米における利下げ、生成AI関連企業の好業績などを背景に上昇基調となりました。当期後半には、米国の関税政策に対する懸念から急落する局面があったものの、相互関税の発動延期や各国との交渉進展を受けて、当期末にかけては大きく買い戻されました。

為替市場では、米ドルをはじめ主要通貨に対して円高が進みました。日銀が利上げによる金融政策の正常化を進める一方で、米国ではインフレ指標の鈍化などから利下げの可能性が意識されたことに加え、米国の政策に対する不透明感が高まったことが円高米ドル安の要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を、期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESGへの取り組みなどの評価に基づき選定した、質が高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し投資を行いました。個別銘柄選択の結果として、一般消費財・サービスや金融セクターの組入比率を高位としました。一方で、エネルギーや公益、不動産セクターには投資を行いませんでした。また、純資産総額のうち、ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額（時価ベース）の比率は、当期末は98.1%となりました。

個別銘柄については、運用チーム独自の観点によるESG評価（アライメント）等に基づいて、適宜組入比率の調整を行いました。例えば、販売した製品の改修や温室効果ガスの排出削減により事業の持続性を高めているASMLホールディング（メダルレーティング：ゴールド）のウェイトを引き上げました。他方で、環境負荷を抑えつつ、慢性疾患克服に向けた変革を進めているノボ・ノルディスク（メダルレーティング：ゴールド）のウェイトを引き下げました。

※運用状況については13～19ページをご参照ください。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年7月17日 ～2025年7月14日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	9,634円

- （注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- （注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド

運用チームでは、業界環境や業績動向などを踏まえ、常に保有銘柄に対する投資の前提を検証し、マクロ環境の影響を受けにくい事業を特定することに注力しています。ポートフォリオで保有しているのは、E S Gへの取り組みに優れ、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視して少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2024年7月17日 ～2025年7月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	336円	1.838%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は18,275円です。
(投信会社)	(200)	(1.094)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(130)	(0.711)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(6)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.017)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	5	0.028	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.028)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.012	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.010)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	346	1.895	

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

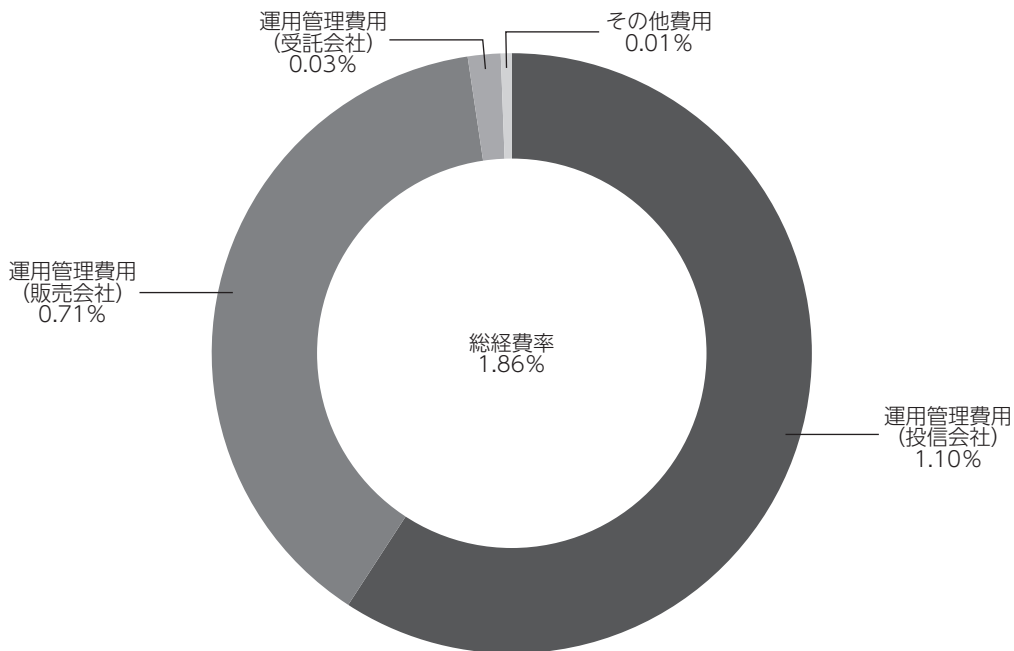
(注 2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年7月17日から2025年7月14日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド	－	－	84,244,714	169,340,000

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	593,051,118千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,029,588,804千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.57

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2024年7月17日から2025年7月14日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド	580,513,960	496,269,246	1,067,127,761

■投資信託財産の構成

2025年7月14日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド	1,067,127,761	97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,158,243	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,091,286,004	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。
(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2025年7月14日現在、グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンドは1,049,562,964千円、97.7％です。
(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年7月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.02円、1デンマーク・クローネ=23.03円、1ユーロ=171.85円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月14日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,091,286,004,627円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	17,174,243,586
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド(評価額)	1,067,127,761,041
未 収 入 金	6,984,000,000
(B) 負 債	13,184,506,103
未 払 解 約 金	3,600,271,644
未 払 信 託 報 酬	9,582,335,627
そ の 他 未 払 費 用	1,898,832
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	1,078,101,498,524
元 本	549,094,922,890
次 期 繰 越 損 益 金	529,006,575,634
(D) 受 益 権 総 口 数	549,094,922,890口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C／D)	19,634円

(注) 期首における元本額は628,885,004,496円、当期中における追加設定元本額は9,888,312,741円、同解約元本額は89,678,394,347円です。

■損益の状況

当期 自2024年7月17日 至2025年7月14日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	24,418,347円
受 取 利 息	24,418,347
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	119,060,968,941
売 買 益	128,421,760,141
売 買 損	△9,360,791,200
(C) 信 託 報 酬 等	△19,689,665,274
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	99,395,722,014
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	376,923,273,372
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	52,687,580,248
(配 当 等 相 当 額)	(22,036,548,082)
(売 買 損 益 相 当 額)	(30,651,032,166)
(G) 合 計(D + E + F)	529,006,575,634
次 期 繰 越 損 益 金(G)	529,006,575,634
追 加 信 託 差 損 益 金	52,687,580,248
(配 当 等 相 当 額)	(22,043,142,249)
(売 買 損 益 相 当 額)	(30,644,437,999)
分 配 準 備 積 立 金	476,318,995,386

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 信託財産の運用の指図に関わる権限を委託するために要する費用は、6,906,747,986円で、委託者報酬から支弁しております。
(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,679,216,423円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	95,716,505,591
(c) 収 益 調 整 金	52,687,580,248
(d) 分 配 準 備 積 立 金	376,923,273,372
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	529,006,575,634
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	9,634.16
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■信託財産留保額の撤廃

【旧】前項の一部解約の価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額から、当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した額とします。

【新】前項の一部解約の価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

(2025年4月17日)

グローバル E S G ハイクオリティ 成長株式マザーファンド

運用報告書

第 5 期（決算日 2025年7月14日）

（計算期間 2024年7月17日～2025年7月14日）

グローバル E S G ハイクオリティ 成長株式マザーファンドの第 5 期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	2020年7月20日から無期限です。
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主 要 投 資 対 象	わが国および新興国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。） ^(*) を主要投資対象とします。 （*）D R（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	純 資 産 額 純 総
		期 騰	落 中 率			
（設 定 日） 2020年7月20日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 375,000
1 期（2021年7月14日）	13,008		30.1	98.3	—	1,140,670
2 期（2022年7月14日）	9,679		△25.6	94.8	—	799,930
3 期（2023年7月14日）	13,737		41.9	98.4	—	965,533
4 期（2024年7月16日）	19,183		39.6	97.3	—	1,113,583
5 期（2025年7月14日）	21,503		12.1	98.1	—	1,067,151

（注 1）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

（注 2）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注 3）当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

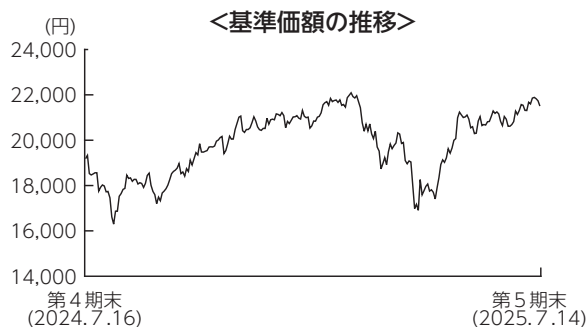
（注 4）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
		騰 落 率		
(期 首) 2024 年 7 月 16 日	円	% —	% 97.3	% —
7 月 末	17,722	△7.6	94.5	—
8 月 末	18,093	△5.7	94.8	—
9 月 末	18,523	△3.4	95.5	—
10 月 末	20,166	5.1	97.3	—
11 月 末	20,465	6.7	95.6	—
12 月 末	20,975	9.3	94.2	—
2025 年 1 月 末	21,750	13.4	97.0	—
2 月 末	20,407	6.4	97.8	—
3 月 末	19,099	△0.4	97.4	—
4 月 末	19,023	△0.8	96.8	—
5 月 末	20,644	7.6	97.7	—
6 月 末	21,571	12.4	97.5	—
(期 末) 2025 年 7 月 14 日	21,503	12.1	98.1	—

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年7月17日から2025年7月14日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は21,503円となり、前期末比で12.1%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

米国を中心にグローバル景気が底堅く推移したことや、生成AI関連需要の拡大などを受けて、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移したことが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや情報技術セクターなどの保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与する一方、ヘルスケアセクターの保有銘柄の株価下落はマイナスに寄与しました。また、米ドルが対円で下落したこともマイナスに寄与しました。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。当期はじめは、軟調な雇用関係指標の発表を受けた米国の景気後退への懸念などから一時下落したものの、その後は過度な景気への警戒感の後退や、欧米における利下げ、生成AI関連企業の好業績などを背景に上昇基調となりました。当期後半には、米国の関税政策に対する懸念から急落する局面があったものの、相互関税の発動延期や各国との交渉進展を受けて、当期末にかけては大きく買い戻されました。

為替市場では、米ドルをはじめ主要通貨に対して円高が進みました。日銀が利上げによる金融政策の正常化を進める一方で、米国ではインフレ指標の鈍化などから利下げの可能性が意識されたことに加え、米国の政策に対する不透明感が高まったことが円高米ドル安の要因となりました。

ポートフォリオについて

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESGへの取り組みなどの評価に基づき選定した、質が高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し投資を行いました。個別銘柄選択の結果として、一般消費財・サービスや金融セクターの組入比率を高位としました。一方で、エネルギーや公益、不動産セクターには投資を行いませんでした。また、純資産総額のうち、ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額（時価ベース）の比率は、当期末は98.1%となりました。

個別銘柄については、運用チーム独自の観点によるESG評価（アライメント）等に基づいて、適宜組入比率の調整を行いました。例えば、販売した製品の改修や温室効果ガスの排出削減により事業の持続性を高めているASMLホールディング（メダルレーティング：ゴールド）のウェイトを引き上げました。他方で、環境負荷を抑えつつ、慢性疾患克服に向けた変革を進めているノボ・ノルディスク（メダルレーティング：ゴールド）のウェイトを引き下げました。

【運用状況】

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 業種は各決算日時点でのGICS（世界産業分類基準）によるものです。

(注3) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

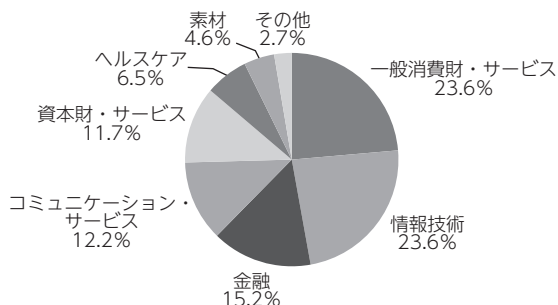
(注4) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注5) メダルレーティングはモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクの基準によるものです。

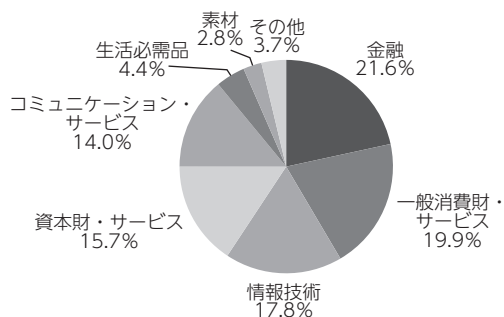
(注6) 現金等はその他として表示しています。

○業種別配分

期首（前期末）

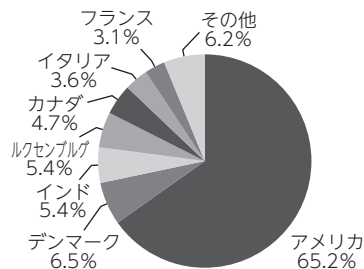


期末

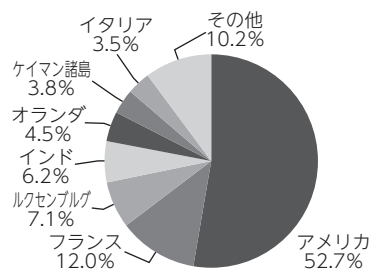


○国別配分

期首（前期末）

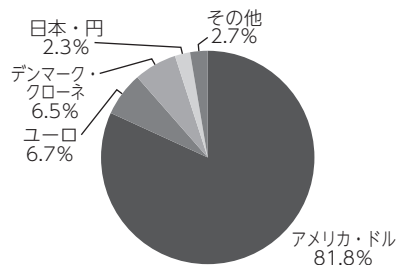


期末

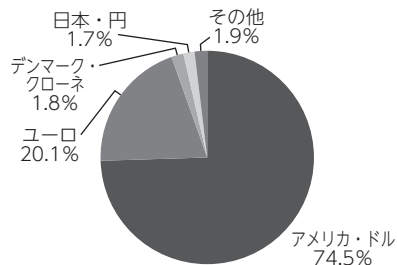


○通貨別配分

期首（前期末）



期末



○組入上位10銘柄
期首（前期末）

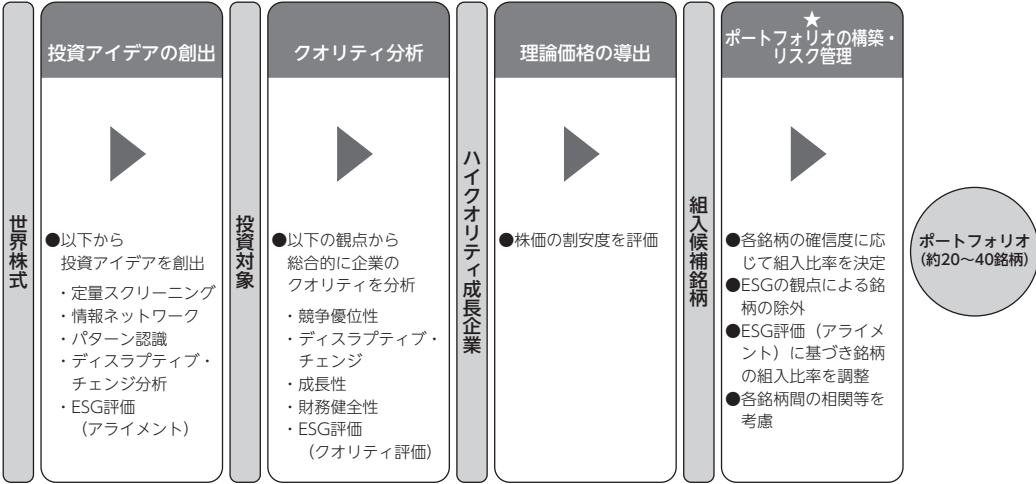
No.	銘柄名	メダルレーティング	通貨	比率
1	SERVICENOW INC	ゴールド	アメリカ・ドル	8.9%
2	UBER TECHNOLOGIES INC	シルバー	アメリカ・ドル	8.6
3	NOVO NORDISK A/S-B	ゴールド	デンマーク・クローネ	6.5
4	AMAZON.COM INC	シルバー	アメリカ・ドル	6.0
5	HDFC BANK LTD ADR	シルバー	アメリカ・ドル	5.4
6	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	シルバー	アメリカ・ドル	5.4
7	META PLATFORMS INC	ブロンズ	アメリカ・ドル	5.0
8	ADOBE INC	ゴールド	アメリカ・ドル	4.9
9	SHOPIFY INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.7
10	MERCADOLIBRE INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.5
組入銘柄数		24銘柄		



期末

No.	銘柄名	メダルレーティング	通貨	比率
1	UBER TECHNOLOGIES INC	シルバー	アメリカ・ドル	8.2%
2	SCHNEIDER ELECTRIC SE	ゴールド	ユーロ	7.6
3	SERVICENOW INC	ゴールド	アメリカ・ドル	7.2
4	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	シルバー	アメリカ・ドル	7.1
5	META PLATFORMS INC	ブロンズ	アメリカ・ドル	6.9
6	HDFC BANK LTD ADR	シルバー	アメリカ・ドル	6.2
7	MERCADOLIBRE INC	シルバー	アメリカ・ドル	6.0
8	AMAZON.COM INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.8
9	VISA INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.6
10	ASML HOLDING NV	ゴールド	ユーロ	4.5
組入銘柄数		23銘柄		

○ご参考：当ファンドの運用プロセス



★ポートフォリオの構築・リスク管理

ポートフォリオの構築・リスク管理においては、各銘柄の確信度に応じて組入比率を決定します。環境や社会に望ましくないと考えられる業種や、企業統治の面で評価の劣る企業を除外します。ESG評価（アライメント）に基づき、銘柄の組入比率を調整します。なお、各銘柄間の相関等も考慮します。

E S G評価（アライメント）に基づき
組入比率を調整

・運用チーム独自の観点により、メダルレーティング*を行い、組入比率の調整を行います。

メダルレーティング	組入比率の調整
ゴールド	増加
シルバー	調整なし
ブロンズ	低下
メダルなし	組入除外

*当運用プロセスにおけるメダルレーティングとは、H E L P（ヘルプ=助ける）& A C T（アクト=行動を起こす）の観点により、E S Gアライメント（ビジネス戦略とE S Gの整合性）を精査したうえで評価し、その評価に応じてゴールド、シルバー、ブロンズ、メダルなしへの分類を行うことをいいます。また、メダルレーティングに応じて銘柄の組入比率の調整を行います。H E L P & A C Tの観点でE S Gアライメントを精査することで、ハイクオリティ成長企業の競争優位性と成長性が長期にわたって持続的に維持可能か判断することができると運用チームでは考えます。

○主要組入銘柄のESGへの取り組みとビジネス戦略／企業価値との結びつき

UBER TECHNOLOGIES INC

概要

世界各地でアプリ上での配車サービスとウーバーイーツによる料理宅配サービス等を提供。事業規模の大きさや強いネットワーク効果、複数サービスを展開することによるシナジー効果は高く評価でき、今後も高い成長が見込まれる。

メダルレーティング：シルバー

ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【人々がどこへでも行けて、何でも手に入れられるような世界の実現を目指す】

- ・ 2040年までにグローバルで全ての乗車サービスをゼロエミッション車両、マイクロモビリティ、公共交通に完全に移行することを目指す。
- ・ ドライバーの電気自動車への移行を促進するために8億ドルの支援プログラムを導入済み。
- ・ 2025年までに、欧州およびアジア太平洋の都市におけるフードデリバリー事業の容器包装の80%を、使い捨てプラスチックから、再利用や堆肥化が可能なパッケージに移行することを目指す。

企業価値との結びつき

- ・ 効率性の高い交通網の実現と、消費者の安全性確保を、温暖化ガス排出量の削減という社会の要請に応えつつ推進しており、企業価値の持続的な拡大が見込まれる。

SCHNEIDER ELECTRIC SE

概要

エネルギー管理や産業オートメーションを提供する企業。ハード、ソフト、サービスのグローバル展開を可能にする規模の大きさや、事業を行う各地域への理解の深さが競合他社に対する差別化につながっている。

メダルレーティング：ゴールド

ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【すべての人がエネルギーと資源を最大限に活用できるようにし、進歩と持続可能性の橋渡し役となる】

- ・ 電化、エネルギー効率化、脱炭素化に必要なエネルギー管理やオートメーションのための製品およびソリューションを開発。
- ・ 不安定な電力供給環境に置かれた人々にグリーン電力を提供するプログラムを開始し、2025年までに5000万人にグリーン電力へのアクセスを提供するプログラムをコミットし、2024年時点でこれを達成。

企業価値との結びつき

- ・ エネルギー管理やオートメーション用の製品やサービスの提供を通じ、直接的に資源の効率的活用という社会の要請に応えており、今後も持続的な収益の拡大が期待できる。

SERVICENOW INC

概要

企業の業務を効率化する統合的サービス管理プラットフォームで世界最大手。今後も業務の合理化・自動化の進展に伴う市場の拡大を背景に、持続的な高成長が期待される。

メダルレーティング：ゴールド

ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【企業のデジタル変革を支援するプラットフォームを提供し、多様な働き方と生産性の改善に貢献することを目指す】

- ・再生可能エネルギー使用率100%を既に達成し、カーボンニュートラルの目標範囲をスコープ3に該当するデータセンター関連の排出等にも拡大。
- ・2030年までのネットゼロ達成を目指し、スコープ1、2、3の排出に対する2026年までの削減目標をコミット。このうちスコープ1、2の目標は2023年時点で達成。

企業価値との結びつき

- ・事業が環境・社会に与える負の外部性は非常に限定的となっており、事業の持続性を高めている。また、ダイバーシティおよびインクルージョンにおけるリーダーシップが優秀な人材をひきつけ、テクノロジーの優位性をもたらしている。

SPOTIFY TECHNOLOGY SA

概要

音楽ストリーミングサービスを展開。多数のユーザーから得られるデータを活用し、豊富なプレイリストを提供することでユーザーを拡大。地域の拡大や、広告事業への投資、非音楽コンテンツの拡大が更なる成長をもたらすことが期待できる。

メダルレーティング：シルバー

ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【クリエイティブなアーティスト達が生計を立て、数十億人の人々がその作品を楽しむ機会を提供する】

- ・埋もれていたクリエイターを支援するための「クリエイター・エクイティ・ファンド」を設立。
- ・女性を積極的に採用・登用しており、2024年現在で従業員の43%、取締役会の30%が女性となっている。
- ・2030年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指している。

企業価値との結びつき

- ・これらの取り組みが同社に対する才能あるアーティストの信頼を高め、魅力的なコンテンツの拡充に繋がっていくことが期待できる。

META PLATFORMS INC

概要

フェイスブック、インスタグラムなどのソーシャルネットワークを世界に提供。強いネットワーク効果を武器に、動画広告やeコマースなどの新たな事業機会を収益に結びつけていくことが期待できる。AIの活用やメタバース事業も積極展開。

メダルレーティング：ブロンズ

ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【コミュニティ作りを応援し、人と人とがより身近になる世界を実現する】

- ・ 2020年以來、使用電力の100%を再生可能エネルギーで賄うことでグローバル事業においてネットゼロを維持。
- ・ 2017年比で温室効果ガス排出量を94%削減。
- ・ 再生可能エネルギーを購入する世界最大級の企業。
- ・ 2030年までにバリューチェーン全体でのネットゼロ達成と事業全体でのウォーターポジティブ（消費量よりも多くの水を供給すること）を目標に掲げている。

企業価値との結びつき

- ・ これらの取り組みが、ステークホルダーにとっての価値創造と、持続的な事業運営の可能性を高めることに繋がっている。

（注）上記は、組入銘柄の紹介を目的として、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクからの情報を基に委託会社を作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

○モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクが同社のスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について*

運用チームは、E S Gに関連する重要な機会やリスクに焦点を当て、投資先企業の経営陣と対話を行っています。対話の優先課題は企業ごとに異なります。運用チームは2024年に、複数の投資先企業とさまざまなトピックについて対話を行いました。以下はその実例です。

アジアのeコマース・プラットフォーム企業との対話では、企業戦略、企業文化、初期段階のサステナビリティへの取り組みについて議論しました。サステナビリティの優先事項には、廃棄物の最小化、電気自動車の配備、人的資本の管理が含まれています。廃棄物を最小限に抑えるため、同社は原材料の成分、再利用やリサイクルの可能性を慎重に検討することで、梱包の最適化を推進しています。また、電気自動車の配備にあたって、電気自動車のコスト抑制と、充電設備の拡充という課題にも取り組んでおり、済州島では電気自動車が配送車両の50%を占めるといった実績を上げています。また、同社のeコマース・プラットフォームにより、多くの中小企業がオンラインで商品を販売することが可能になり、雇用創出に大きく貢献しています。人的資本の面では更に、女性従業員の積極登用、従業員や配達員の健康維持のためのインフラ整備、教育プログラムの拡充にも積極的に取り組んでいます。

欧州のラグジュアリー・ブランド企業との対話では、企業戦略とサステナビリティ戦略の進捗状況、生産におけるサステナブルなリサイクル素材の使用、気候変動への取り組みについて議論しました。同社は、同社製品の最も重要な原材料の一つであるダウン（羽毛）に特に焦点を当てて、過去10年間にわたりトレーサビリティとサステナビリティの向上を推進してきました。ダウンのサプライヤー全てに対して、飼育基準、動物福祉（動物の健康と権利を守る考え方）、トレーサビリティなどを含めた、厳格なルールに従うことを要求し、独立した外部機関による監査も実施しています。また同社は、衣料品や包装にリサイクル素材や低環境負荷素材の使用を増やす目標を設定しています。加えて、衣料品の高度な修理サービスの拡充により、製品寿命を延ばすことにも取り組んでいます。気候変動への対策では、短期的な温室効果ガスの排出削減目標に加え、2050年までにバリューチェーン全体でネットゼロを達成するという目標にコミットしています。

*モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクの資料をもとに、アセットマネジメントOneが要約

今後の運用方針

運用チームでは、業界環境や業績動向などを踏まえ、常に保有銘柄に対する投資の前提を検証し、マクロ環境の影響を受けにくい事業を特定することに注力しています。ポートフォリオで保有しているのは、E S Gへの取り組みに優れ、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視して少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3円 (3)	0.017% (0.017)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.028 (0.028)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.012 (0.010) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	11	0.057	
期中の平均基準価額は19,849円です。			

(注 1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注 2) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2024年 7 月 17 日から 2025 年 7 月 14 日まで)
株 式

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	上 場	千株 － (－)	千円 － (－)	千株 17.6	千円 1,038,511	
外 国	ア メ リ カ		百株 242,803.6 (11,109.3)	千アメリカ・ドル 428,275 (－)	百株 208,919.56	千アメリカ・ドル 2,253,306
	デ ン マ ー ク		百株 － (－)	千デンマーク・クローネ － (－)	百株 12,828.1	千デンマーク・クローネ 1,077,111
	ユ ー ロ	オ ラ ン ダ	百株 4,322.26 (－)	千ユーロ 322,125 (－)	百株 220.11	千ユーロ 14,790
		フ ラ ン ス	百株 20,575.24 (－)	千ユーロ 589,364 (△2,934)	百株 984.36	千ユーロ 27,250
		イ タ リ ア	百株 4,726.93 (－)	千ユーロ 24,209 (－)	百株 2,314.93	千ユーロ 12,653

(注 1) 金額は受渡代金です。
(注 2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	593,051,118千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,029,588,804千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.57

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2024年7月17日から2025年7月14日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 国内株式

銘 柄		期首(前期末)	当 期	末
		株 数	株 数	評 価 額
電気機器 (100.0%)		千株	千株	千円
キーエンス		346.3	328.7	18,055,491
合 計	株 数 ・ 金 額	千株	千株	千円
	銘 柄 数<比率>	346.3	328.7	18,055,491
		1銘柄	1銘柄	<1.7%>

(注1) 銘柄欄の () 内は、期末の国内株式評価総額に対する各業種の比率です。
(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

(2) 外国株式

銘柄		株数	株数	期 末		業 種 等
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
AMAZON.COM INC		22,046.17	15,376.13	345,993	50,867,990	大規模小売り
ADOBE INC		6,100.27	—	—	—	ソフトウェア
BALL CORP		21,385.96	—	—	—	容器・包装
DECKERS OUTDOOR CORP		2,221.86	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品
THE WALT DISNEY CO		13,655.13	—	—	—	娯楽
ECOLAB INC		8,025.27	7,616.58	203,332	29,893,902	化学
SALESFORCE INC		7,807.78	3,952.85	102,011	14,997,686	ソフトウェア
HDFC BANK LTD ADR		62,730.8	59,536.19	452,534	66,531,633	銀行
MASTERCARD INC		5,264.41	4,996.31	274,886	40,413,884	金融サービス
LULULEMON ATHLETICA INC		4,197.72	3,983.95	94,224	13,852,871	繊維・アパレル・贅沢品
MERCADOLIBRE INC		1,808.41	1,810.85	432,331	63,561,359	大規模小売り
VISA INC		10,056.06	9,543.95	332,062	48,819,851	金融サービス
META PLATFORMS INC		7,018.09	6,993.72	501,806	73,775,577	インタラクティブ・メディアおよびサービス
SERVICENOW INC		8,113.75	5,547.6	520,797	76,567,662	ソフトウェア
SPOTIFY TECHNOLOGY SA		12,496.05	7,251.74	514,257	75,606,085	娯楽
UBER TECHNOLOGIES INC		83,173.7	62,183.24	593,165	87,207,254	陸上運輸
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISLANDS		—	212,808.69	273,033	40,141,392	銀行
COUPANG INC		123,073.54	62,825.51	188,979	27,783,712	大規模小売り
ON HOLDING AG		23,233.84	24,396.65	127,936	18,809,155	繊維・アパレル・贅沢品
SHOPIFY INC		50,946.21	19,254.46	215,861	31,735,994	情報技術サービス
BLOCK INC		25,804.01	36,073.95	234,985	34,547,599	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	499,159.03	544,152.37	5,408,200	795,113,613	
	銘 柄 数<比 率>	20銘柄	17銘柄	—	<74.5%>	
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVO NORDISK A/S-B		32,173.19	19,345.09	849,152	19,555,987	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額	32,173.19	19,345.09	849,152	19,555,987	
	銘 柄 数<比 率>	1銘柄	1銘柄	—	<1.8%>	
(ユーロ…オランダ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HOLDING NV		—	4,102.15	280,546	48,211,836	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	—	4,102.15	280,546	48,211,836	
	銘 柄 数<比 率>	—銘柄	1銘柄	—	<4.5%>	

銘 柄		期 首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額 邦 貨 換 算 金 額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ 千円	
L'OREAL		—	7,376.73	275,779 47,392,629	パーソナルケア用品
SCHNEIDER ELECTRIC SE		8,614.58	20,828.73	469,062 80,608,476	電気設備
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	8,614.58 1銘柄	28,205.46 2銘柄	744,842 —	128,001,106 <12.0%>
(ユーロ…イタリア)		百株	百株	千ユーロ 千円	
MONCLER SPA		40,730.05	43,142.05	220,024 37,811,202	繊維・アパレル・贅沢品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	40,730.05 1銘柄	43,142.05 1銘柄	220,024 —	37,811,202 <3.5%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	580,676.85 23銘柄	638,947.12 22銘柄	—	1,028,693,746 <96.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する各通貨別（ユーロは国別）株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2025年7月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,046,749,237	% 97.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	27,400,384	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,074,149,622	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。
(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,049,562,964千円、97.7%です。
(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年7月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.02円、1デンマーク・クローネ=23.03円、1ユーロ=171.85円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月14日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,081,190,058,808円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	27,260,408,961
株 式(評価額)	1,046,749,237,968
未 収 入 金	7,040,436,480
未 収 配 当 金	139,975,399
(B) 負 債	14,038,636,800
未 払 金	7,054,636,800
未 払 解 約 金	6,984,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	1,067,151,422,008
元 本	496,269,246,636
次 期 繰 越 損 益 金	570,882,175,372
(D) 受 益 権 総 口 数	496,269,246,636口
1 万口当たり基準価額(C／D)	21,503円

(注1) 期首元本額 580,513,960,934円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 84,244,714,298円
(注2) 期末における元本の内訳
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし) 496,269,246,636円
期末元本合計 496,269,246,636円

■損益の状況

当期 自2024年7月17日 至2025年7月14日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,838,205,505円
受 取 配 当 金	4,288,793,317
受 取 利 息	547,646,777
そ の 他 収 益 金	1,765,411
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	118,193,643,104
売 買 益	243,435,293,887
売 買 損	△125,241,650,783
(C) そ の 他 費 用	△124,020,956
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	122,907,827,653
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	533,069,633,421
(F) 解 約 差 損 益 金	△85,095,285,702
(G) 合 計(D + E + F)	570,882,175,372
次 期 繰 越 損 益 金(G)	570,882,175,372

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)